

User Manual

iR-ETN- EtherNet/IP 接続ガイド

本マニュアルでは、iR-ETN を PLC に接続する手順について説明します。

UM020006J_20200724

目次

概	要	1
	EasyRemoteIO を使用して EDS ファイルを生成させる方法	
2.	CODESYS	3
3.	Rockwell CompactLogix/ControlLogix	10
4.	Panasonic FP7	17



概要

iR-ETN は firmware V1.0.3.0 から、EtherNet/IP プロトコルをサポートし始めました。 EasyRemote IO ソフトウェアは、EtherNet/IP 装置記述ファイル(EDS)をエクスポートする機能を提供します。 EasyRemoteIO ソフトウェアで iR-ETN をスキャンすれば、現在 iR-ETN の配置を基づいて自動的に対応する EDS ファイルを生成させます。 PLC または他の EtherNet/IP Scanner 装置では、EDS ファイルをインポートすれば、簡易で迅速にネットワーク配置を完了できます。

- iR-ETN バージョン: V1.0.3.0
- EasyRemoteIO ソフトウェアバージョン: V1.3.2.0 以降
- iR-ETN firmware の更新は以下のリンクをご参照ください:

 <u>UM019005J iR Series Firmware Update UserManual 20191003 jpn.pdf</u>

本文書は、iR-ETN の EtherNet/IP 装置記述ファイル(EDS File)を生成させる方法、及び各 PLC EtherNet/IP 通信を iR-ETN に接続する方法について説明します。

1. EasyRemoteIO を使用して EDS ファイルを生成させる方法

EasyRemotelO の使用方法は下記のリンクをご参照ください:

UM018004J EasyRemoteIO UserManual jpn.pdf

Step 1. EasyRemotelO を起動し、[自動スキャン]を選択します。ネットワーク内にいる iR-ETN をスキャンします。

iR-ETN と接続するモジュールの情報が表示されます。





Step 2. [ファイル] » [EtherNet/IP EDS をエクスポートする]を選択し、保存先を指定してタグをエクスポートします。



Step 3. iR-ETN を選択し、[OK]をクリックします。



EDS ファイルのエクスポートに成功しました。

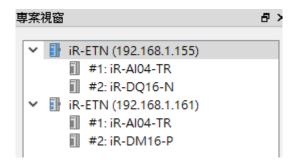




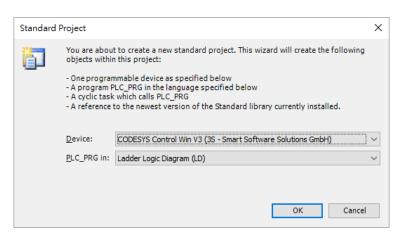
2. CODESYS

本章は、PC 内の CODESYS で 2 台の iR-ETN と iR Remote IO を接続することを例にして説明します。

Step 1. EasyRemotelO でスキャンし、EtherNet/IP EDS をエクスポートします。

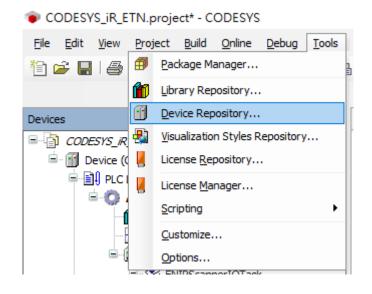


Step 2. CODESYS で新しいプロジェクトをオープンし、使用する装置を選択します。

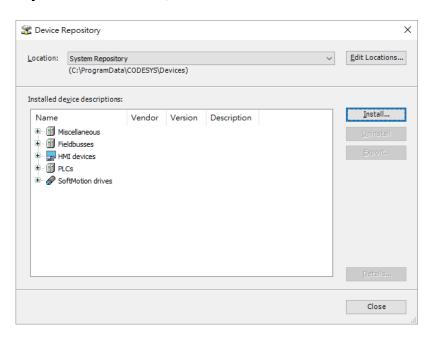


Step 3. [Tools] » [Device Repository...]をクリックします。



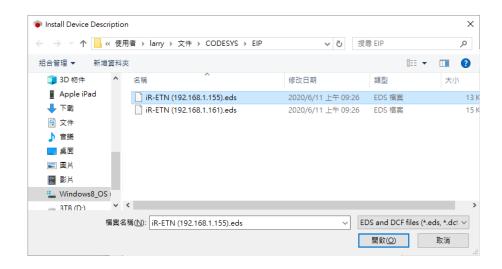


Step 4. [Install...]をクリックします。

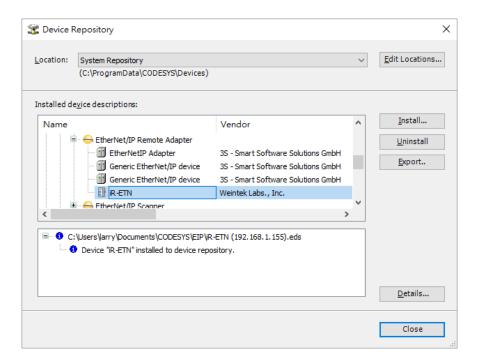


Step 5. [EDS and DCF files (*.eds, *.dcf)]を選択してから、1 個目の*.eds ファイルを選択します。



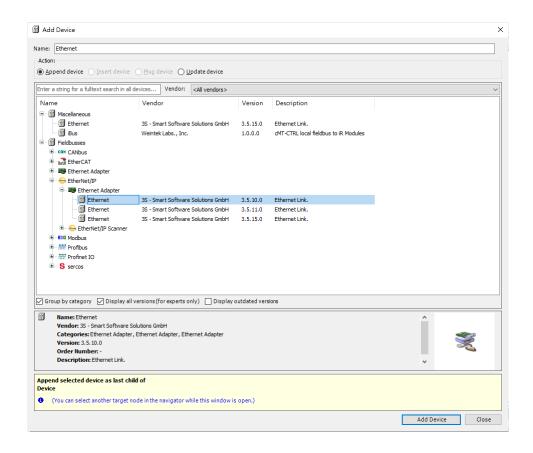


Step 6. インポートした後、EtherNet/IP Remote Adapter の下に iR-ETN が新規 追加されたのが見られます。

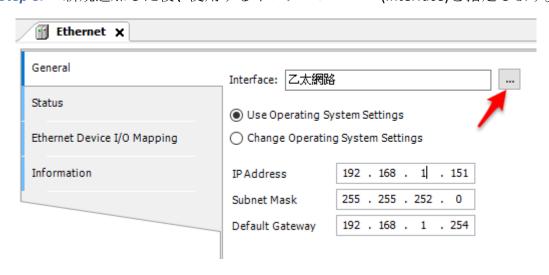


Step 7. Ethernet 装置を新規追加します。

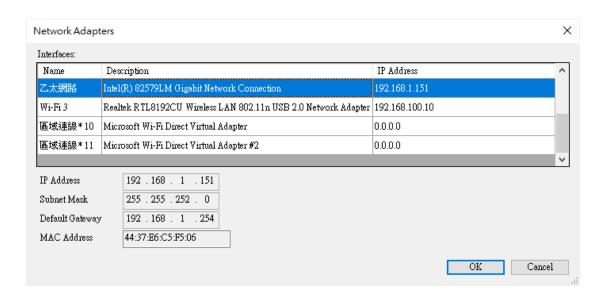




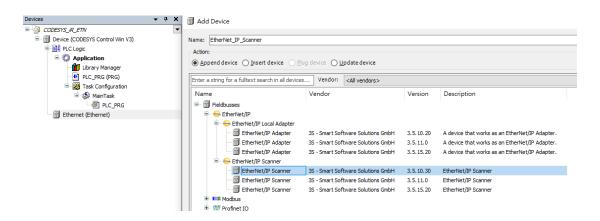
Step 8. 新規追加した後、使用するインターフェース(Interface)を指定します。



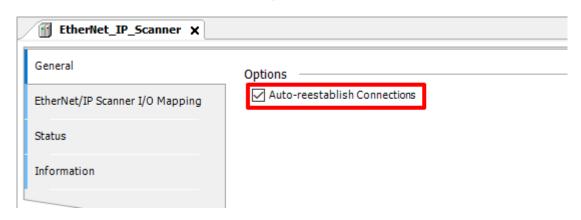




Step 9. EtherNet/IP Scanner を新規追加します。

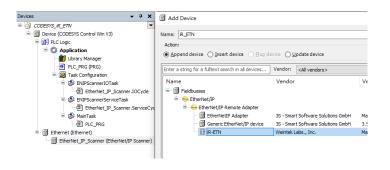


*Auto-reestablish Connections(自動的に接続を再作成)にチェックマークを入れる必要があります。



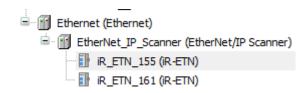
Step 10. 1 台目の iR-ETN を新規追加します。



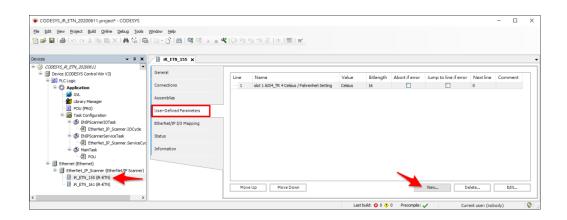


ステップ 3 に従って 2 台目の iR-ETN の.eds ファイルを選択します。これで 1 台目の.eds ファイルが上書きされます。

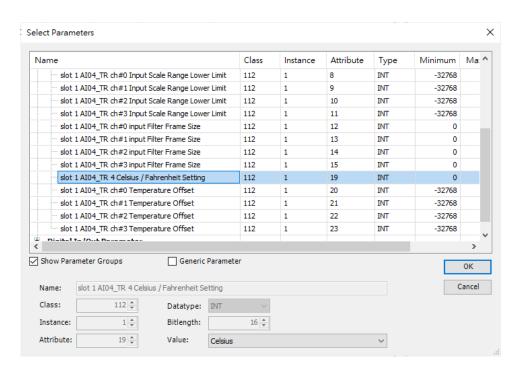
それから2台目のiR-ETNを新規追加します。



Step 11. iR モジュールの初期設定を、User-Defined Parameters タブで新規作成できます。



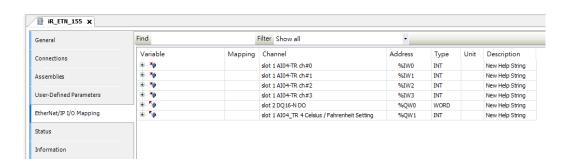




新規作成したら、初期値を設定できます。



Step 12. EtherNet/IP I/O Mapping でマッピングされた IO アドレスが見られたら、プログラミングできます。

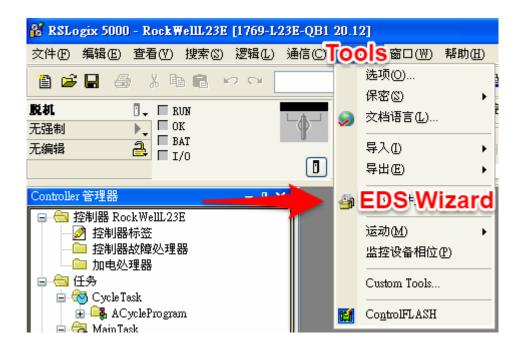




3. Rockwell CompactLogix/ControlLogix

Rockwell CompactLogix と ControlLogix は RSLogix5000 で編集されます。

Step 1. [Tools] » [EDS Wizard]で iR-ETN の EDS ファイルをインポートします。



指示に従って EDS ファイルをインポートします。

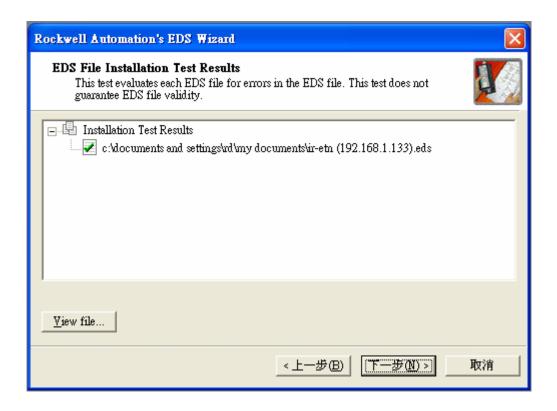


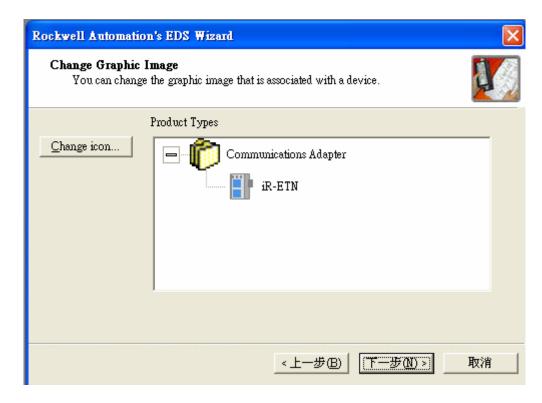




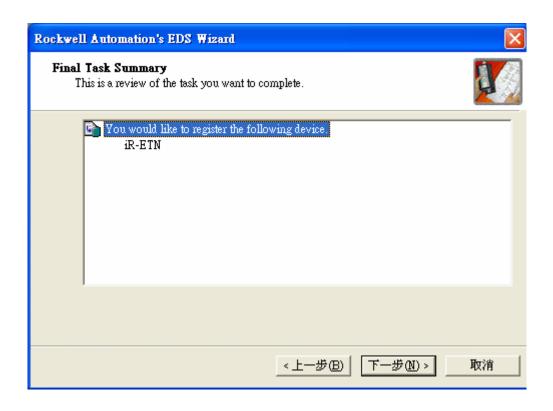


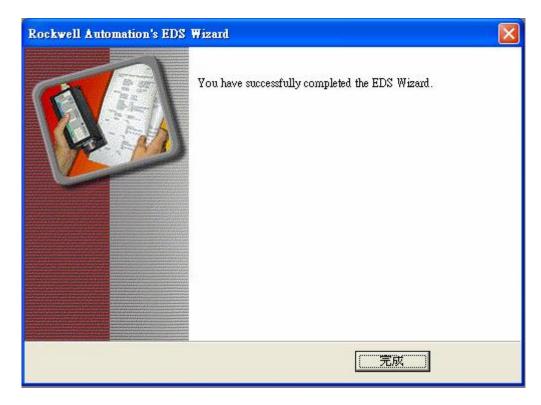










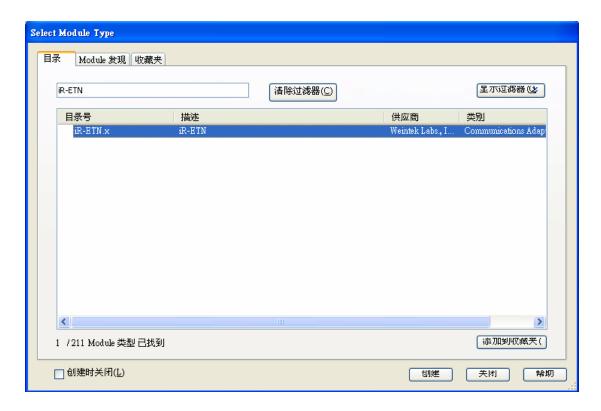




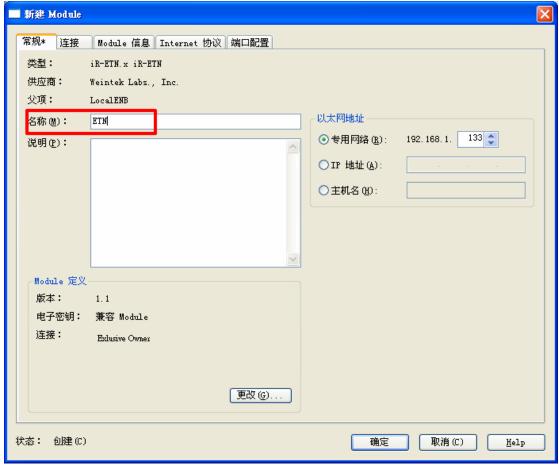
Step 2. [Ethernet]でマウスを右クリックし、[Add Module...]を選択します。





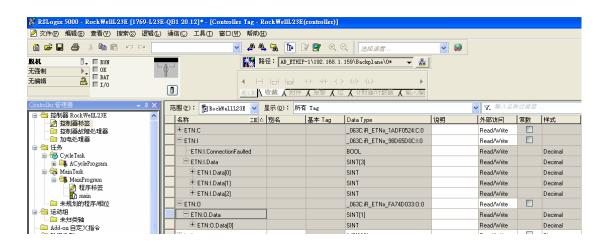


iR-ETN の IP アドレスと名前を入力します。この名前はタグに使用されます。



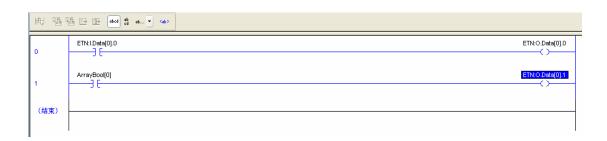


Step 3. 作成した後、コントローラタグで ETN の Input/Output Data が見られます。



プログラムを書く際に、対応する bit を選択します。



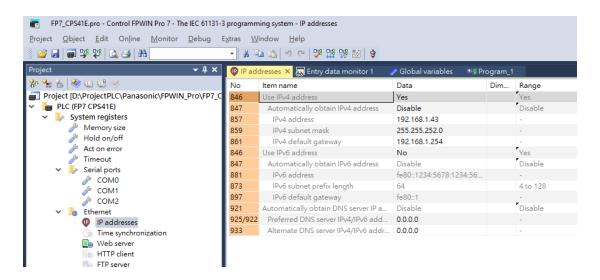




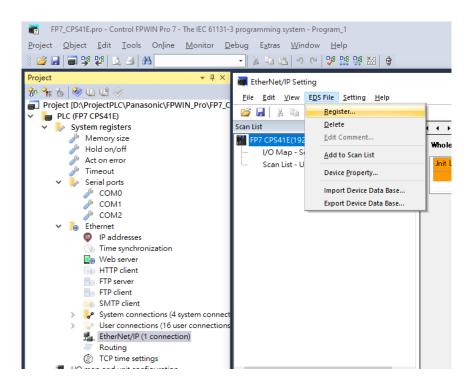
4. Panasonic FP7

Panasonic FP7 CPS41E CPU は EtherNet/IP をサポートします。設定するには Control FPWIN Pro 7 編集ソフトウェアを使用します。

Step 1. PLC を固定 IP に設定します。

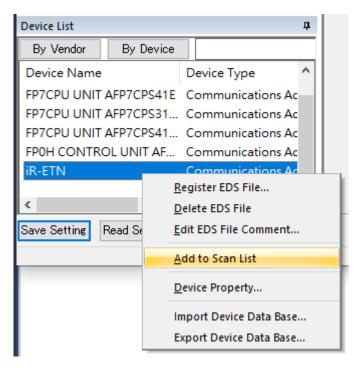


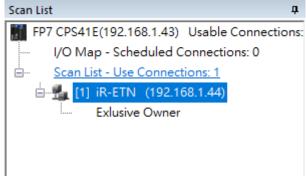
Step 2. EtherNet/IP Setting » [EDS File] » [Register...]をオープンし、iR-ETN の EDS ファイルをインポートします。



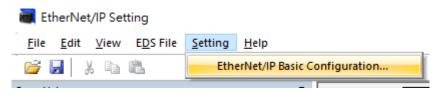


Step 3. iR-ETN でマウスを右クリックし、[Add to Scan List]を選択します。



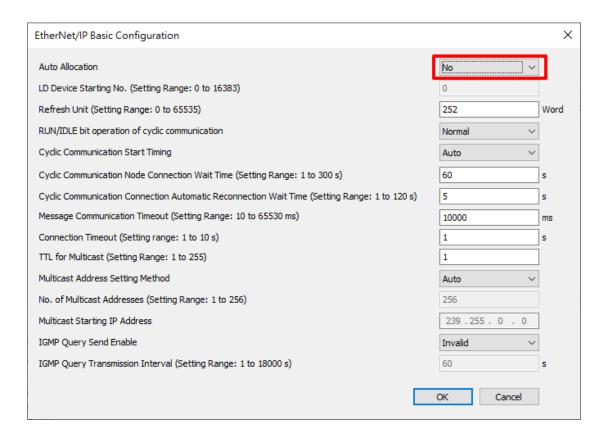


Step 4. [Setting] » [EtherNet/IP Basic Configuration...]

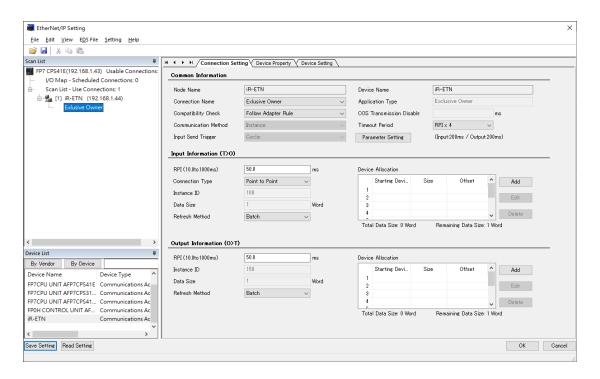


Auto Allocation を No に設定します。



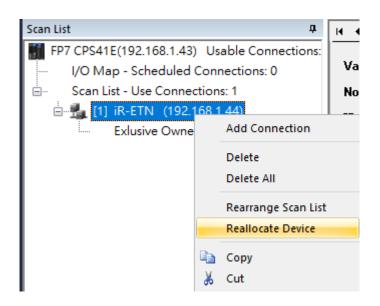


Step 5. この時、Device Allocation は空欄です。



iR-ETN でマウスを右クリックし、[Reallocate Device]を選択すれば、自動的に分配されます。

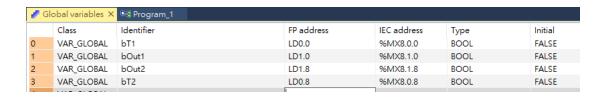




設定を他のプロジェクトに読み取らせるように、[Save Setting]をクリックして保存します。

[OK]をクリックして設定を完了します。

Step 6. Global variables タブで I/O mapping を設定すれば、プログラムに用いられることができます。



CODESYS® is a trademark of 3S-Smart Software Solutions GmbH.

本ドキュメントに記載されている各社名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。 本ドキュメントの記載内容は、予告なく変更する場合があります。

Copyright© 2020 Weintek Lab., Inc. All rights reserved.